

【研究主題】

思いやりの心もち、主体的に行動できる子どもの育成

- 学校と家庭・地域を結ぶ道徳教育の実践を通して -

【研究の概要】

本研究は、道徳教育の要である道徳の時間の授業づくりを核に位置づけ、家庭・地域との連携を深めながら、様々な人・もの・こととのかかわりを考慮した総合単元的な道徳学習を構想し実践したものである。学校・家庭・地域社会が連携し一貫した教育活動を行うことは、児童一人一人の道徳性を培う上で効果的であった。

心に響く道徳の授業「ベスト3」

第5学年

主題名 正しいこと 4 - (3) 公正公平
ねらい だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし正義の実現に努めようとする心情を育てる。

資料名 「キング牧師」 出典 5年生の道徳 文溪堂

授業内容 - 地域を広くとらえた取組み -

主人公のマーチンが理不尽な人種差別に出遭う場面は、児童の共感を呼び起こし、自分自身の生き方を振り返るきっかけとなった。マーチンの思いに深く共感させ、互いの人間性を認め合うことの大切さについて考えさせた。

ホロコースト記念館の館長さんの話を聞くことにより、自らの生き方について考えることができた。



～ホロコースト記念館～

第4学年

主題名 自然を大切に 3 - (1) 自然愛護

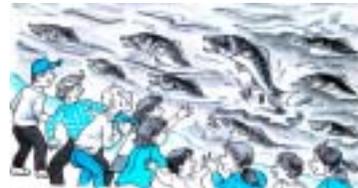
ねらい 自然を守り育てていこうとする心情を育てる。

資料名 「川よ、もう一度」

出典 小学どとうく生きる力 大阪書籍

授業内容 - 「ふるさと」がキーワード -

導入では、鮭の姿をビデオで見せ臨場感をもたせると同時に、鮭が泳ぐ川のきれいさに感動をもたせることをねらった。終末では、校区を流れる四日市川の上流の写真を見せ、自分たちの町の川を汚さない、きれいにしたいという心情を高めていった。総合的な学習の時間や社会科との関連を明らかにし、地域のお年寄りとの交流の際に聞き取りを行ったことがねらいに迫るために効果的であった。



四日市川の水は、きれいな。

第2学年

主題名 生命の不思議 3 - (2) 生命尊重

ねらい 生命の現象を知ることによって、生命を大切にすること、心情を養う。

資料名 「マーちゃんのおと」 出典 みんなで考えるどとうく

授業内容 保護者との連携がポイント

学習に向かう意欲を高めるために挿絵を導入で提示したことは効果的であった。終末では、聴診器を用いて子ども同士で、また、保護者も加わって心臓の音を聴き合い、生きている実感や喜びを味わわせ、ねらいに迫ることができた。

まだ八十六じゃが。

おばあちゃんは今、何歳ですか。

